

# ハントケ・コレクション2

2019年にノーベル文学賞を受賞したオーストリアの作家ペーター・ハントケ。その全体像を見渡す本邦初の作品集の続巻（全3巻予定）。第2巻では、初期の言語実験的作風から、目立たぬものを言葉によって救い出し「物語」の中に保存する試みへと至った転換期である80年代の代表作を収録。スロヴェニアへの旅を描いた自伝的色彩が濃い長篇『反復』と、その「小さな後奏曲」と呼ばれる中篇『作家の午後』を併録。 【海外文学】



ハントケ・コレクション2 【第2回配本／2024年11月7日配本予定】

ペーター・ハントケ 著／阿部卓也 訳

四六判上製／本文384頁／定価4,400円（本体4,000円＋税）

ISBN978-4-588-48612-8／C0097／装丁：緒方修一

## ❖ 今後の刊行予定

ハントケ・コレクション1 2023年9月25日配本（既刊）

長い別れのための短い手紙（1972）＊本邦初訳

幸せではないが、もういい（1972）

ノーベル文学賞受賞講演（2019）＊本邦初訳

ハントケ・コレクション2 2024年11月7日配本予定

反復（1986）＊1995年刊行の同学社版を全面改訳

作家の午後（1987）＊本邦初訳

ハントケ・コレクション3 2025年春頃刊行予定

第九の国からの夢想家の別れ（1991）

ドナウ川、サヴァ川、モラヴァ川、ドリナ川への冬の旅、あるいはセルビアに公正に（1996）＊本邦初訳

冬の旅への夏の補遺（1996）＊本邦初訳

空爆下のユーゴスラヴィアで——涙の下から問いかける（2000）

ダイミエルのタブラス

——スロボダン・ミロシェヴィッチに対する裁判のための回り道の証人の報告（2006）＊本邦初訳

## ❖ 著者プロフィール

ペーター・ハントケ（Peter Handke）

1942年、オーストリア生まれ。現代ドイツ語圏文学の最も重要な作家の一人。ヴィム・ヴェンダースの映画『ベルリン・天使の詩』の脚本を担当。90年代以降、旧ユーゴについての発言（NATO空爆に対する抗議等）で激しい論議を巻き起こした。2019年、ノーベル文学賞を受賞。

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 法政大学出版局

FAX: 03-5214-5542

TEL: 03-5214-5540

ハントケ・コレクション1 【第1回配本】（冊）

ISBN978-4-588-48611-1 定価3,850円（本体3,500円＋税）

ハントケ・コレクション2 【第2回配本】（冊）

ISBN978-4-588-48612-8 定価4,400円（本体4,000円＋税）

ハントケ・コレクション3 【定期ご予約】（冊）

ISBN978-4-588-48613-5

帖合・番線